



学校を開き、生徒の未来を拓く

◇巢南中学校研究発表会

10月23日(水)、巢南中学校で研究発表会を開催しました。市内や市外から約400名の教育関係者が参加しました。研究主題は「学びを深め、確かな学力を身に付ける生徒の育成～学び合いを核とした、単元・授業デザインの工夫を通して～」とし、この研究をスタートして、今年で3年目となります。子どもたちはタブレット端末を文房具の様に使い、どの教科の授業でも対話を中心とした学びに取り組んでいました。小学校の先生方の感想の中には「〇〇さんは、身体も大きくなり、大人っぽく成長した姿が見られてうれしかった」「□□さんは、中学生になり授業に向かう姿が前向きになった」等、教え子の成長した姿に出会い、大変喜ばれていました。

◇全国学力状況調査「生活や学校での学習」に関する項目より

「当てはまる」が全国や県よりも高い傾向	「当てはまる」が全国より高く県より低い傾向
①学校に行くのは楽しい。 ②自分には、よいところがある。 ③将来の夢や目標を持っている。 ④人の役に立つ人間になりたい。 ⑤地域や社会をよくするために何かしたい。 ⑥平日や休日の学習時間(塾なども含む)は2時間以上取り組んでいる。 ⑦毎日、同じくらいの時刻に寝ている。 ⑧毎日、同じくらいの時刻に起きている。	⑨先生は、あなたのよいところを認めてくれている。 ⑩困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。 ⑪いじめは、どんな理由があってもいけない。

上の表は3年生を対象にした全国学力状況調査「生活や学校での学習」の項目から、4段階の選択肢から選ぶ方法で「当てはまる」と回答した3年生の割合です。全国や県の結果と比較したのが上の表です。①から⑩の項目は、「自己肯定感」「家庭学習の状況」「家庭生活の状況」等を示しています。これらの項目は、基礎学力の定着はもちろん、めざす目標の達成や進路を実現するための礎となると考えています。一方、⑪の「いじめはいけない」では、県より低い傾向にあります。いじめ防止対策推進法より「いじめは、絶対に許されない」と法律に定められています。誰もが互いの人権を大切できる気持ちを醸成できるように継続して指導を行います。また、悩んだときに誰かに助けを求めることが苦手な生徒も多くみられます。今後もスクールカウンセラーによる「SOSの出し方」の授業等を活用し、生徒自らが周りの大人に「助けて」「困った」と言えるように取り組んでいきます。

◇朝の挨拶活動や登下校の様子について

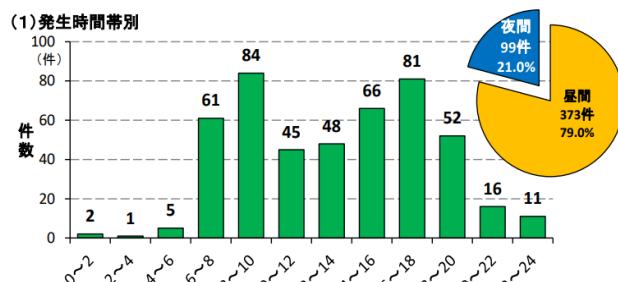
【MSJ挨拶ボランティア活動の様子】



巢南中のMSJリーダーズが毎朝、北門付近で登校してくる巢中生に、明るいトーンで挨拶活動を行っています。生徒同士が気持ちのよい挨拶を交わしており、さわやかな朝を自分たちで作ろうとしています。また、落ち葉清掃にも協力し、美化活動にも進んで取り組んでいます。素敵な姿がさらに広がっていくことを期待しています。

さて、日が暮れるのも早くなることで、下校時の危険性も高まります。生徒の登下校の時間帯は事故が多い傾向

にあることが岐阜県の資料からも分かります(図1参照)。今後もお昼の放送や短学活等、安全指導を継続していきます。ご家庭でも「交通ルールを守ること」「通学路を通ること」「自転車はヘルメットをかぶり、あご紐を締めること」等、通学の様子を確認していただき、安全な登下校をお願いします。特に自転車通学者は「巢南中学校の自転車通学者の約束」を守ることを保護者の方にも確認していただいた上で、自転車通学の許可を出しています。許可の意味も伝えていただき、自転車通学に関する助言をお願いします。



【図1 令和5年度自転車事故の発生時間帯(岐阜県ホームページより)】